

# 2022年度 法科大学院

## 第2期末修者

## 入学試験問題

## (小論文方式)

### 試験時間 80分

#### 注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5)下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6)参照は不可となっています。
- (7)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

## [小論文1]

次の文章を読み、続く問いに答えなさい。

初等教育のあり方が議論されているが、一番大切なのは理科の授業を充実させることである。ここで理科というのは、動物学、植物学、地質学、鉱物学といった伝統的な学問のことである。それならば今でも教えられているから十分ではないかと思うのは間違いである。もし本当に十分に教えられているのなら、もっと多くの環境問題に対して、もっと早くに対策が講じられたはずである。

最近になってようやくレジ袋の有料化<sup>(1)</sup>が始まったが、その趣旨は国民に理解されているだろうか。わたしの関心はマイクロプラスチック問題にある。マイクロプラスチックとは微小なプラスチック粒子のことで、海中から相当数が発見されている。レジ袋も生成原因になっているようだ。プラスチックは分解されないので、海洋生物への影響が懸念される。魚がこれを飲み込むと死に至ることがあるという。そのような出来事は人間には関係ないように見えるが、そうではない。生態系を念頭に置いて考える<sup>(2)</sup>必要がある。

生態系とは、無数の生物が特定の空間を背景にして成立させている関係性である。人間、人間以外の動物、様々な植物。ほかにもこちらに好奇心と専門知識がなければ見えてこない生物が無数にいるはずだ。また、生物だけでなく、その生息・生育環境も視野に入れる必要がある。「そういうことは理科系の人にまかせておこう」などと発言する「文科系の人」には猛省を促さなければならない。今日では、国民一人ひとりが生態系の観念を脳裡にしっかりと植え込むよう求められている。環境基本法の第3条を読んでみよう。

「環境の保全は、環境を健全で恵み豊かなものとして維持することが人間の健康で文化的な生活に欠くことのできないものであること及び生態系が微妙な均衡を保つことによって成り立っており人類の存続の基盤である限りある環境が、人間の活動による環境への負荷によって損なわれるおそれが生じてきていることにかんがみ、現在及び将来の世代の人間が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに人類の存続の基盤である環境が将来にわたって維持されるように適切に行われなければならない。」

ここに「生態系が微妙な均衡を保つ」という表現が用いられているが、実体験がないと「微妙な均衡」はなかなか理解できない。大人になってから生態系に目を向けよと言われても、それまでに身につけた思考と行動のパターンを変えるのは難しいので、幼少期からの実践的な理科教育が肝要である。それは都会でも工夫すればできることである。

問1 下線部(1)の「レジ袋の有料化」は、どのようなことを目的にしているのだろうか。あなたが理解していることを500字程度で記しなさい。

問2 下線部(2)の「生態系を念頭に置いて考える」とは、どのようなことを意味するのだろうか。あなたの考えを500字程度で記しなさい。

## [小論文2]

下記の【課題文】を読み、【問1】から【問3】までの問いに答えなさい。

### 【課題文】

<省略>

<取材考記 朝日新聞 2021年5月27日より>

### 【問1】(15点)

課題文によれば、なぜアスリートの身長や体重の公開を抑える動きが広がっているか、説明しなさい。

### 【問2】(15点)

課題文の著者は、アスリートの身長や体重の公開を抑える動きに対して、どのような考えを持っているか、説明しなさい。

### 【問3】(20点)

問1及び問2を踏まえて、自己の見解を述べなさい。その上で、個人情報の保護一般について考えるところを述べなさい。